



スモールステップ



10月号

早速うれしい収穫が

校長 田島 忍

実りの多い2学期になるようにとスタートを切った9月でしたが、早速うれしい収穫がありました。私は小学部6年生の新木場方面への移動教室に引率で同行しました。最初の見学先は「水の科学館」で、児童たちは水に直接触れて遊んだり、クイズや実験コーナー、動画のシアターで水について学んだりして楽しむことができました。宿舎の「BumB」に到着後、「夢の島熱帯植物館」も見学しました。ジャングルのようなドームの中を散策して、南国の珍しい花々や巨大な葉の植物などを見て、非日常を体験しました。その後は宿舎に戻り、汗をかいた後の入浴でサッパリして、美味しい夕食をモリモリ食べて、普段と違う部屋でも落ち着いて就寝することができました。小学部5年生も「BumB」での移動教室に出かけましたが、児童たちがこれらの行事を通して得ることのできた経験は、うれしい収穫となりました。

10月にも、行事として小学部の1年生と4年生の遠足、中学部では2年生の移動教室と3年生の修学旅行を予定しています。本校では、自立と社会参加のための力を着実に伸ばしていくために、通常授業の積み重ねをベースとしますが、校外へ出かける行事も大切にして、児童・生徒の見聞を広め、経験を増やしてまいります。

本日から、保護者の方々に御来校いただき、個別面談を実施しております。お子様の学校と御家庭での様子については日頃、連絡帳やお電話で情報共有させていただいておりますが、学級担任等が保護者の方と直接お会いしてお話をする事で、共通理解を深め、連携をより緊密なものにしてまいりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

本校の情報教育について (GIGA 端末の活用)

情報教育部担当主幹 基本 武志

4月の学校だよりでお伝えしました本年度の本校のGIGA端末の持ち帰りと学校内でのGIGA端末を活用した情報教育の近況についてお知らせいたします。

GIGA 端末の持ち帰りが始まり約半年が経ちました。昨年度から始まった取り組みではありますが、現在までの持ち帰りも数名で、これから更に進めていくという状況です。

各学年、様々なアプリをインストールして使用を始めています。個々の実態に合った学習内容のアプリを検討し、無料アプリだけではなく、有償アプリもダウンロードしながら校内で活用しているところです。小学部の学習においては、授業内で使用するときにはアプリ教材に取り組んでいる児童が多い様子です。有償アプリの種類に関しては「たのしい算数」「かず こどもゆびドリル」など取り組みやすいものを使っています。中学部でも、「かたちパズル」や「時計くみたてパズル」などを使用し、デジタルプリントやKeynoteでの課題にも取り組んでいます。

本年度の調査を行いました。国語や算数(数学)、生活単元学習や図工(美術)など授業内で活用をしています。授業時間の中だけで使用するのではなく、個別課題の時間で使うことも多いです。

また、各学部、各学年、各学級においてはGIGA 端末の使用方法も様々で、全体学習後の振り返りや個々の動き、取り組みなどにおいて確認し、理解を深めることにもつながっています。例えば、パワーポイントやKeynoteを使い、クイズ形式で問題を提示し、個々の課題に沿った学習に取り組ませることで一人一人が興味関心をもって参加することができています。その中の工夫の一つとして、アニメーションで動きを付けたり、音声を出したり、文字を大きくしたり、色を変えたりと視覚的・聴覚的優位の教材の活用に役立てています。個に応じた様々な支援ができることで、個別に最適に取り組むことができるようになります。また、児童・生徒もタッチペンを使ってデジタルプリントに文字を書く練習や文章問題を行う際にも、文字を大きくしたり、色を濃くしたり、すぐに消すことができるので課題に取り組みやすくなります。苦手な課題を楽しみながら学習をしたり、日記を付けたりと個々に応じて使用方法は様々です。また、座って課題に取り組むことが苦手な児童・生徒もタブレット端末だと集中して楽しんで取り組めるようになることが多くあります。

長時間の使用に対して配慮しなければならないところもありますが、現代ではデジタル機器の活用は不可欠になりつつあります。適切な使用方法やルールを守り、より良い学習方法を考え、実践していきたいと考えています。児童・生徒一人一人の実態に合った最適な学習ができるよう、様々な御意見をいただければ幸いです。引き続き御協力よろしく願いいたします。